




事例概要

令和元年5月18日

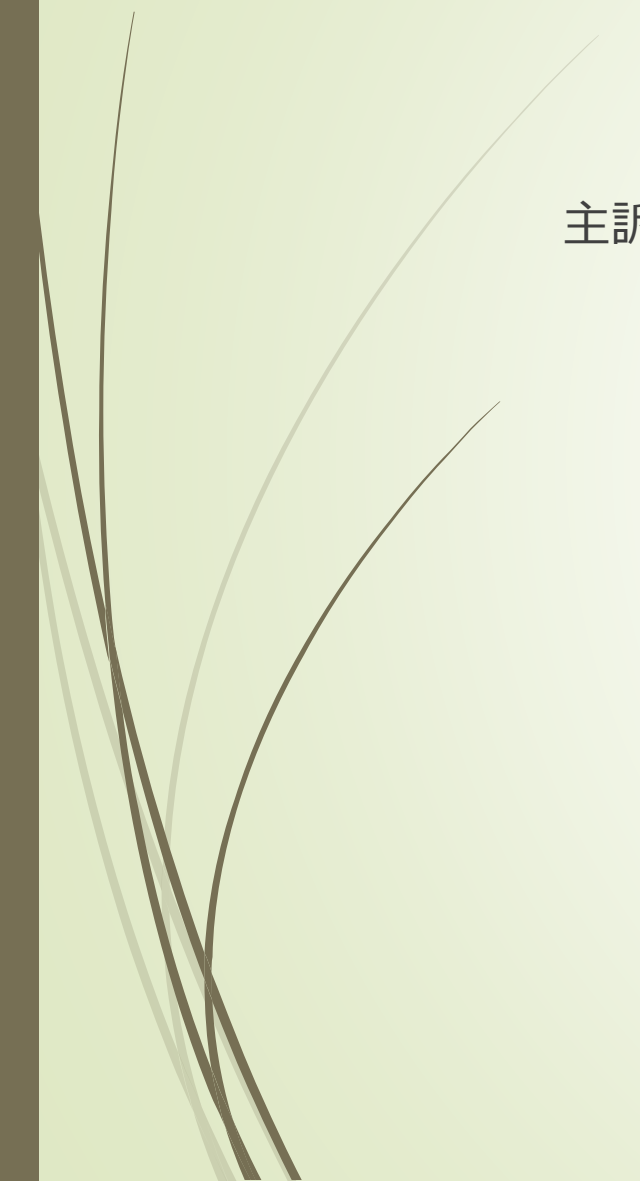

障がい福祉サービス・介護支援専門員合同事例検討会



利用者の氏名：Yさん 85歳

介護度 : 要介護 1

事例概要 : 脳性麻痺既往（障がい者手帳 2 級あり）の三女と二人暮らし。三女は相談支援専門員がついており、居宅介護を利用している。本人は三女の支援をしているが、薬の飲み忘れ、火の不始末が目立つようになり受診、認知症と診断される。調理の補助や家事援助を目的に訪問介護を利用している。三女は夜間訴えが多く、本人は三女に手を上げてしまう事もある。



主訴

: 本人「娘が心配。娘の面倒をみてあげたい。私が頑張らなきゃ。」


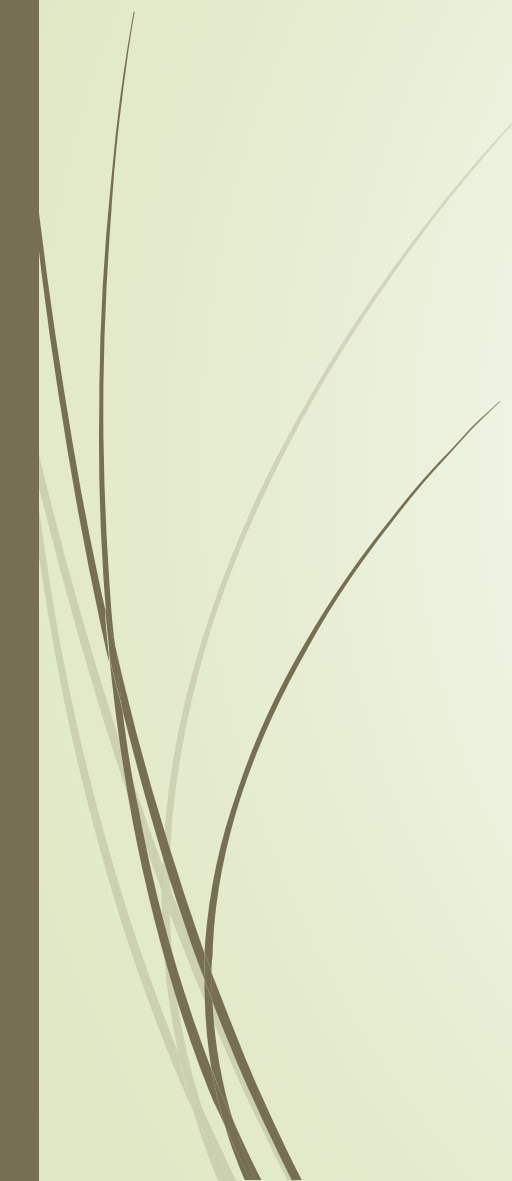
三女「お母さんと一緒にここで暮らしたい。」

次女「三女は障がい者施設への入所も考えている。でも、そうすると母の認知症が進んでしまうような気がして...。

三女もまだ家にいたいと思うし可哀そうかなと思うけど、母も限界近いのかなとも思うし...。

私も仕事や義理母の介護もあるのでずっと見ている事ができない。」

長男「三女がいないと母がどうにかなってしまう気がする。気晴らしに出かけられると良いが...。」

- 
- 
- 家族構成：
- 本人 認知症あり。足腰は丈夫で自宅二階も生活範囲となっている。
訪問介護利用中。
 - 三女 本人と同居。障がい者手帳（身体2級、精神2級）所持。
区分5認定（身体介護月65時間、通院介助10時間）
居宅介護（身体介護）を利用している。
既往として脳性麻痺、統合失調症にての入院歴がある。
幻覚やせん妄もみられる。
 - 次女 同市内に居住。同居の次女義理母（要介護2）の介護も
行っている。本人宅には仕事の合間に毎日短時間訪問している。
 - 長男 他市在住。週末のうち1日は本人宅に訪問。
 - 次女義理母 認知症あり。週4日ショートステイ、週3日デイを利用している。

《作成方法》 ジェノグラム：家族状況 / (エコマップ：利用者の周辺状況)

男性 女性 性別不明 △ (年齢を中に記入 56)

利用者は二重 ◎ 死亡 ⊗

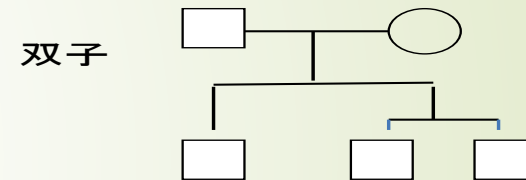
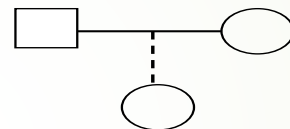
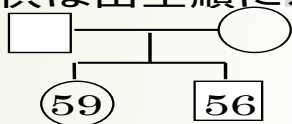
結婚 □ — ○

別居 □ —|— ○

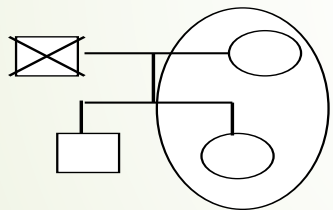
離婚 □ —|—|— ○

内縁 □ - - - ○

(子供は出生順に左から) 里親または養子



同居



社会資源 友人 や ボランティア

肯定的関係 ——— (関係の強さを線の太さで表す)

ストレスのある関係 | | | | | (ストレスの強さを線の数で表す)

す)

希薄な関係 - - - - -

関係性の方向 →

